

12月は地球温暖化防止月間

地球温暖化防止月間の目的とは

平成九年十二月、京都で開催された気候変動枠組条約第三回締約国会議を契機とし、国は毎年十二月を地球温暖化防止月間と定めました。同月間は、国民・事業者・行政が一体となり、普及啓発事業やウォームピズなど、さまざまな取り組みを行い、地球温暖化防止を図ろうとするものです。

身近にできる環境にやさしい取り組みを心掛けましょう

- 冬は暖房の温度を二十℃に設定する
- 使用しない電気機器はコンセントを抜く
- 環境に配慮した製品を活用する

- 省エネルギー機器・設備に切り替える
- 太陽光発電システムを設置したり、木質ペレットストーブを使用する
- 出掛ける際はバスや電車、自転車などを利用する
- エコドライブ（ふんわりアクセル、アイドリングストップ）を実践する
- マイバッグ、マイボトルを持ち歩く
- 水道・シャワーの使用時間を短くする

エコドライブ
冬は20℃
太陽光発電システムの設置
マイバッグ
シャワーを短く
自転車を利用

第11回いわき子ども環境賞コンクール
最優秀賞「ポイ捨ては あなたのモラル 捨てること」
（三阪中一年 和泉 亮平さん）

お問い合わせ
環境企画課環境企画係
☎22・7528

いわきの復興 ⑦

来年4月の供用開始に向けて建設が進む
江名公民館・江名市民サービスセンター



現在の仮設公民館・市民サービスセンターから場所を移転し新たに整備する施設（江名字敷倉）



完成イメージ

進んでいます

市復興事業計画（第四次）を策定

平成27年度までの復興期における具体的な取り組みを位置付けた「市復興事業計画（第四次）」を、11月に策定しました。

同計画の策定に当たっては、各界各層の市民の皆さんで構成する「市行政経営市民会議」を開催し、委員の皆さんからいただいた意見を反映するとともに、国が創設した新たな制度に対応した取り組みを構築することなどにより、これまでの第三次計画に5つの取り組みを加え、合計222の取り組みを位置付けました。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。



市行政経営市民会議の正副委員長から市長への報告（10月29日）

いわき応援大使の紹介 ⑥



高橋 公さん
（認定NPO法人ふるさと
回帰支援センター代表理事）

いわき市小名浜は、人生で一番多感な時代を過ごした心のふるさとです。福島県浜通りは、いま試練のなかにありますが、戊辰の役の敗北を乗り越え、現在に至った経験もあります。誇りと笑顔を忘れず、復興を勝ち取りましょう。



林 洋和さん
（一財）流通システム
開発センター会長

一点豪華主義か？独自色を出せるのか？それとも、雇用・医療・教育・エンターテインメントなどのバランス型？ゆるキャラ、ご当地アイドル？悩んでいてもしょうがない。ともかく、後手後手ではなく、先手先手で前進あるのみでしょう。



田中 孝雄さん
（三井造船株式会社
代表取締役社長）

現在、いわき沖の浮体式洋上風力発電の実証試験に参画しております。安全性、信頼性、経済性を評価試験中で、“漁業と浮体式洋上ウインドファームの共存”の実現に向け、福島復興にも寄与すべく実用化を目指します。



蛭田 史郎さん
（旭化成株式会社常任
相談役）

震災からの復興は、元のままに戻るのではなく、時代の変化を織り込むか、先取りするようにすることが大事だと思う。時代はより人間らしく、より自然と共生することを目指しています。自然豊かないわきは、まさに、このイメージ実現にピッタリです。

募集 「独身者のための魅力アップ連続セミナー」の参加者

市民協働課協働推進係 ☎22-7009 FAX 22-7609
shiminkyodo@city.iwaki.fukushima.jp

見城美枝子さんや増田明美さんらを講師に迎え、独身の方を対象とした3回連続となるセミナーを開催します。

- ▶とき／講師 ①1月24日(土)／見城美枝子さん（青森大学教授・エッセイスト） ②2月7日(土)／増田明美さん（スポーツジャーナリスト・いわき応援大使） ③2月21日(土)／吉田恵美子さん（NPO法人ザ・ピープル理事長）
- ▶時間／ところ 13時30分～16時／産業創造館
- ▶対象 市内に住所を有している20歳以上で、3回とも参加できる独身の方
- ▶募集人員 男女各20人（応募多数の場合は抽選）
- ▶応募方法／応募期限 ハガキにセミナー名・住所・氏名・年齢・電話番号・職業を記入し、〒970-8686 市民協働課へ（FAX・E可）／12月24日(水)消印有効



見城美枝子さん 増田明美さん